



2025 年8月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ デ ィ ネ ッ ト  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 久 布 白 兼 直  
(コード番号:2370 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 落 合 雅 三  
( T E L 0 3 - 6 6 3 1 - 1 2 0 1 )

(開示事項の変更)  
**糖鎖修飾改変 T 細胞の消化器がんを対象とした再生医療等製品の開発目的等の変更  
及び  
第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について**

当社は、大阪大学大学院医学研究科と共同で確立した「糖鎖修飾・代謝制御による免疫細胞の新規培養技術」を用いて製造した糖鎖修飾改変T細胞について、難治性の消化器がんを対象とした再生医療等製品の開発に取り組んでおりましたが、消化器がんに対する治療動向の変化等を踏まえ、今後、再生医療等製品として開発を進めるには更なる時間と費用を要することから、より先行している開発テーマに研究開発資源を移行投下することとし、糖鎖修飾改変T細胞を単独で消化器がんに対する再生医療等製品として開発することを中止し、本培養技術についてはCAR-T細胞及びTCR-T細胞の活性向上のための基盤技術としての研究に注力することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

尚、これまでの再生医療等製品の開発過程で得られた知的財産や知見を活用し、糖鎖修飾改変T細胞は2024年2月より当社の契約医療機関においてがん免疫細胞治療として提供されており、今後も提供は継続いたします。

これに伴い、2023年3月31日付「(開示事項の変更) 第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」<sup>1</sup> (以下「2023年3月開示」)において開示いたしました「資金使途及び支出予定時期の変更内容」の支出内容及び支出予定時期を変更することを本日取締役会で決議いたしましたのでお知らせします。

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。

1. 2023 年3月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」の変更内容

(1) 第 15 回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
( i ) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	2019年10月～2021年9月
( ii ) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変 T 細胞等)の開発費	172	2020年10月～2026年3月
合計	398	

※2023 年3月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容(上記の資金使途及び金額については、優先度の高いものより順に記載を行っています。)

<変更後>

調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
--------	-------------	--------

( i ) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費用	226	2019年10月～2021年9月
( ii ) 再生医療等製品(糖鎖修飾改変 T 細胞等)の開発費	<u>100</u>	2020年10月～ <u>2025年7月</u>
<u>( iii ) 再生医療等製品の開発に係る費用</u>	<u>71</u>	<u>2025年8月</u> ～2026年3月
合計	398	

※第 15 回新株予約権は、70,000 個(7,000,000 株)全てが行使完了しており、398 百万円の資金を調達しております。2025 年7月 31 日現在において、( i ) 226 百万円、( ii ) 100 百万円を充当しており、支出していない資金 71 百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

## (2) 第 16 回新株予約権

<変更前>

調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
( i ) 難治性の消化器がんに対する新規の再生医療等製品(糖鎖修飾改変T細胞等)の開発に係る費用	551	2020年7月～2026年3月
( ii ) 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	537	2020年7月～2026年3月
( iii ) 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	53	2020年7月～2022年12月
( iv ) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170	2022年12月～2023年3月
( v ) 本社運転資金	152	2022年12月～2023年3月
合計	1,463	

※2023 年3月開示において開示した「調達する資金の具体的な使途」変更前の内容(上記の資金使途及び金額については、優先度の高いものより順に記載を行っています。)

<変更後>

調達する資金の具体的な使途(変更箇所は下線)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
( i ) <u>再生医療等製品の開発に係る費用</u>	551	<u>2025年8月</u> ～2026年3月
( ii ) 国立がん研究センターと共同研究するHSP105の研究開発に係る費用	537	2020年7月～2026年3月
( iii ) 京都府立医科大学と共同研究するBAR-T技術の研究開発に係る費用	53	2020年7月～2022年12月
( iv ) 慢性心不全治療に用いる再生医療等製品の実用化に向けた共同研究費	170	2022年12月～2023年3月
( v ) 本社運転資金	152	2022年12月～2023年3月
合計	1,463	

※第 16 回新株予約権は、164,000 個(16,400,000 株)全てが行使完了しており、1,463 百万円の資金を調達しております。2025 年7月 31 日現在において( i )は未充当であります、( ii ) 274 百万円、( iii ) 53 百万円、( iv ) 170 百万円、( v ) 152 百万円をそれぞれ充当しており、支出していない資金 813 百万円については、実際に支出するまでの期間、銀行等の安全な金融機関において管理しております。

なお、本件による 2025 年9月期業績に与える影響は軽微であります。

以上

---

<sup>i</sup> 2023 年3月 31 日リリース <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2370/tdnet/2257994/00.pdf>

「(開示事項の変更) 第三者割当による新株予約権の発行に関する資金使途及び支出予定時期の変更について」